

2018年度実施の新キャンペーンのお知らせ

「Change! Challenge! +1!!(チェンジ! チャレンジ! プラス1!!)」

～ パワー・スピード・技術・スタミナ < 野球が好き ～

「21c型穂波プロジェクト」(にいがたほなみプロジェクト)の一環として、今年度新たなキャンペーンを下記のとおり実施します。

私たちが、野球を通じて大切なことをたくさん学んでほしいと思っても、何より子どもたちが「野球が好き」でいてくれなければ、その願いは実現しません。

試合や練習の方法を工夫し、その方法を実践、共有することで、野球の楽しさをもっと感じてもらい、主体性をもっと引き出し、野球をもっと続けてもらえるための、新たな一歩を踏み出すきっかけになれば嬉しく思います。

● 内容

「始めよう! 楽しもう! 続けよう!」につながる新たな取組に、一つ以上チャレンジする。

※ すでに各チームが様々な工夫を試合や練習に取り入れていることと思いますが、それに加えて、一つ以上の実践をお願いします。

● 実践例

- 試合での投手の球数制限をルール化
- ベンチ入りメンバー全員が試合に出場
- 1イニングの得点に上限を設ける
- 変化球に制限を設ける
- フェアプレーや好ましい行いにグリーンカードを提示
- 選手によるセルフジャッジ
- 野球未経験者対象のティーボール大会を開催
- 新たなリーグ戦の導入
- ミスに対する声かけの工夫 etc.

練習試合や(小さな)大会で積極的にローカルルールを採用したり、楽しめる練習方法を導入するなどの工夫、障がい予防、保護者の負担軽減等々



NYBOC & METHOD
チャレンジ

第6回

みなさんのNYBOC理解度を試すクイズです!

- NYBOCの「21c型穂波プロジェクト」を応援している元ソフトボール日本代表監督は誰? ()
- 新潟メソッドで紹介している障がい予防のストレッチ名は「〇〇ストレッチ」であるが、〇〇に入る言葉は何? ()
- 新潟メソッドで紹介している障がい予防のトレーニング名は「〇〇トレーニング」であるが、〇〇に入る言葉は何? ()

※答えはP4にあります。



「始めよう! 楽しもう! 続けよう!」の実現に向け、各チームが新たなアイディアの一つ以上挑戦しましょう!

- 取組の例
- 厳正な球数制限 ・ 変化球の制限ルール化
 - トーナメントからリーグ戦へ ・ ベンチメンバー全員出場
 - セルフジャッジの導入 ・ よい行為にはグリーンカード
 - 保護者によるお茶出し NG ...etc.

新潟県青少年野球団体協議会

高校生と小学生が交流! ~県高野連がキャッチボールイベントを開催~

7月7日(土)、ハードオフエコスタジアム新潟で開催された第100回全国高等学校野球選手権記念新潟大会の開会式後、「夢」と「未来」をテーマに、高校生と小学生がキャッチボールで交流するイベントを行いました。このイベントに参加した小学生の感想を掲載します。

3歳からバットとボールで遊び始め、大好きになった野球。今の僕は気づくと野球のことばかり考えるようになり、仲間と野球をやっている時が一番幸せです。

そんな僕に、新たな夢を与えてくれました。高校生のようになり、もっともっと野球がうまくなりたい。高校生の投げる球は勢い良く僕の胸に投げ込まれ、僕は必死に受け止めました。ズシリと重い硬式ボール、気持ちいい。投げ返す時には、高校生は「よし、こい。」と笑顔で呼んでくれ、嬉しかった。憧れの高校球児の皆さんは、優しく格好良かった。

そんな先輩達の全カプレーが見たくて、その後いろんな球場に足を運んで何試合も応援しました。真剣勝負に身震いました。逆転のシーンに胸が熱くなりました。そして最後の整列と挨拶...敵、味方なく球場全体から大きな拍手が送られる。感動しました。

チームを代表して、「野球をもっと好きになれるきっかけをいただき、ありがとうございます。」僕も未来、野球の楽しさと素晴らしさを全身で表現できる野球選手になります。

小学6年生 青山あらなみ野球少年団(新潟市西区)所属



野球を始めたばかりの仲間達とエコスタに入った時、最初は緊張しました。お兄さん達のボールが捕れるか心配でした。でも、高校生が笑顔で迎えてくれ、中越高校の監督が僕たちに声を掛けてくれ、思いっきり楽しむことができました。高校生のボールは強くて痛かったけど、狙ったところにちゃんと来るから全部捕れました。今度は、エコスタで打ってみたい。もっともっと練習して、ホームランを打つぞ!そして優勝するぞ!夢の甲子園で勝つぞ!

小学3年生 青山あらなみ野球少年団(新潟市西区)所属

NIIGATA野球サミット2018を開催します

2016年1月に開催した「NIIGATA野球サミット」を今年、再び開催します。今回は、現侍ジャパントップチーム監督の稲葉篤紀氏を迎え、「求められる指導法」と題してご講演いただきました。今回は、トークセッション形式で、私たちの活動に理解ある著名なプロ野球関係者を中心に出演交渉中です。概要が決まり次第、再度、皆様にお知らせします。

その際、NYBOC加盟の各団体を通じ10月末には参加申込みを開始したいと計画しています。なお、期日と会場は、下記の通りとなりますので、数多くの方々から御参加いただけますよう、今からご予約ください。

記

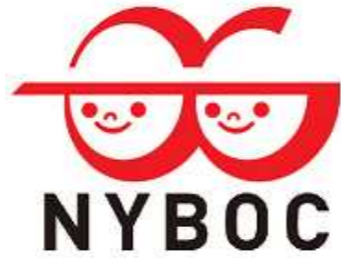
- | | |
|------|--|
| 1 期日 | 平成30年12月22日(土)13:00~17:00(予定は変更の場合があります) |
| 2 会場 | 朱鷺メッセ 新潟市中央区万代島6-1 |
| 3 内容 | 第1部 野球障がい予防研修(新潟リハビリテーション病院長 山本氏) |
| (予定) | 第2部 野球界の現状とスポーツマンシップ(出演者交渉中) |
| | 第3部 講演及びトークセッション(出演者交渉中) |
| | 第4部 チェンジ!チャレンジ!+1!!の実践発表など |
| | 第5部 懇親会(ホテル日航新潟) |



お知らせ

新潟県青少年野球団体協議会加盟の各団体に選出役員の交代があり、当協議会役員にも変更がありましたので、お知らせします。

- 会 長 富樫 信浩 (県高校野球連盟会長)
 副 会 長 竹田 直人 (前県高校野球連盟専務理事)
 副 会 長 石川 智雄 (前県中学校体育連盟軟式野球専門部長)
 理 事 長 杵 義孝 (県高校野球連盟専務理事)
 副理事長 佐藤 勉 (県中学校体育連盟軟式野球専門部長)
 21c 型穂波プロジェクトリーダー 島田 修 (元県高校野球連盟専務理事)
 21c 型穂波プロジェクトサブリーダー 中原 文二 (元県高校野球連盟専務理事)
 理 事 新発田貞夫 (県野球連盟理事長)、高橋 正司 (県スポーツ少年団本部長)、
 小林 由明 (リトルリーグ新潟ブロック理事長)、大橋 耕一 (リトルシニア新潟ブロック理事長)
 笹川 信之 (新潟ポニー事務局)、阿部 晋也 (ヤングリーグ北日本支部新潟事務局)
 中原 雄二 (ボーイズリーグ長野県支部新潟ボーイズ代表)、山本 智章 (野球障害ケア代表)
 豊岡 裕一 (県高校野球連盟専務理事)
 事務局 長 渡辺 敏文 (県中学校体育連盟軟式野球専門部)
 事務局次長 田中 伸一 (県中学校体育連盟軟式野球専門部)



少年野球教室の講師に高校球児を活用しませんか！



全国的に野球人口の減少が話題となる中、昨年度から日本高等学校野球連盟の規則が緩和されました。野球の魅力伝え、競技の継続と将来の高校球児を育む目的で、小学生と高校生が単独チーム同士でも合同練習が可能となりました。すでに、他県では、マスコミも取り上げて少年野球教室として報じていますが、本県でも数例、実施されています。普段の練習に刺激を与える面でも互いに効果が期待されます。なお、希望される小学生チームは、近隣の高等学校野球部や加盟団体へお問い合わせください。また、各高等学校野球部からも連絡のある場合がありますので、その際はご検討ください。

NYBOC & METHOD チャレンジ

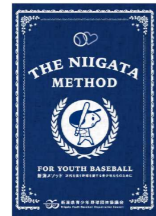
第6回の答え

1. 宇津木妙子
2. えちご
3. こしひかり

次号につづく！

「新潟メソッド」を冊いかがですか？

この「新潟スタイル」を全国へ！



購入希望は、E-mail で
nyboc@grace.ocn.ne.jp
 へお問合せください！

ケガのないチーム作りを目指して！

肩肘検診やコンディショニング講習会などを考えている団体やチームのみなさんへ、野球障害ケア新潟ネットワークの派遣についても、NYBOCへお問合せください。



始めよう！楽しもう！続けよう！



「いいプレーには自然と拍手がわくグラウンドっていいよね 敵味方なく、ね！」



NYBOCは新潟メソッドを推奨しています

〜〜編集後記〜〜

夏の高校野球選手権が100回を迎えた。これまでに多くの方々のご尽力があり、今日までの長い歴史を繋いでこれたものと、心から敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

しかし、少子化や野球人口の減少など、野球界を取り巻く環境の急激な変化の中で、100年後の将来にどんな形で200回大会を迎えるのか考えると、私たちが今、取り組んでいくべきことが大切になると思う。また、今年度から中学校、高校での部活動のあり方も、変化が求められている。活動時間の短縮化が日本中で進められ、「野球＝練習時間が長い」というイメージを改善していくことも求められています。

さて、京都市で開催された第3回全日本中学校女子軟式野球大会で本県代表の「トキガールズ」がベスト8入りを果たしました。その大会プログラムのチーム紹介には、『新潟メソッドの精神「グラウンドに敵はいない」。全国の仲間と試し合い、交流を深めたいです。』とありました。相手を尊重した、本当に良い「試し合い」を見せてもらい、感動させていただきました。
 <広報委員長 中原文二>



マイスター Topics

NYBOCの今を伝える

第6号 平成30年8月3日(金)
 <発行者> NYBOC
 新潟県青少年野球団体協議会広報委員会
 Web : <http://nyboc2015.ec-net.jp/>
 E-mail : nyboc@grace.ocn.ne.jp

「高校野球200年構想」とNYBOCの活動から

全国高校野球大会が100回を数える今年、(公財)日本高等学校野球連盟は、「高校野球200年構想」を協議してきました。先日、報道があったように、全国的にも野球人口の減少が危惧されている中で、「次の100年」に向けた行動計画と具体的事業を5月16日に発表しました。その内容には、NYBOCのこれまでの活動と共通する部分があります。以下にそれぞれの項目ごとに紹介します。

高校野球 200年構想	NYBOCの活動や県内の状況
<普及> ①子供向けティーボール教室の開催 ②200年構想のプレーボールイベント開催 ③ティーボール用具を都道府県連盟に配布 ④ちびっ子ベースボールフェスティバルの開催 ⑤幼稚園、小学校の教諭向けに講習会を開催	①各加盟団体で開催 ②新キャンペーンで推奨中 ④⑤は今後の課題
<振興> ①小中学校との連携事業 ②基礎知識を伝える野球冊子の作製、配布 ③小中学生のための野球教室の開催 ④高校生との小中学生の交流イベントの開催	①通学区単位で連携している地域あり ③野球フェスタで毎年開催 ④高校生と小学生は昨年度から実施
<けが予防> ①けが予防講習会の開催 ②高校生対象の肩ひじ検診の実施 ③小中高生対象の継続的な肩ひじ検診の実施 ④けが予防やセルフチェックのための手引き書、DVDを制作 ⑤野球手帳の製作	①野球フェスタや各団体で開催 ②野球フェスタで医事相談を開催 ③野球フェスタや各団体で開催 ④野球手帳を発行し、冊子の内容に網羅 ⑤平成23年に発行済み
<育成> ①栄養講座の開催や公認スポーツ栄養士の派遣 ②審判委員の育成 ③指導者の育成 ④栄養指導のモデル作り ⑤体作りを支援するコンディショニングノートを作製、配布 ⑥選手の育成	①野球フェスタに導入可能 ②審判委員も指導者に位置づけ新潟メソッドの精神を ③新潟メソッドに指導者の心がけを記載 ⑤新潟メソッドの「推奨練習メニュー」に記載 ⑥新潟メソッドで心構えの育成を記載
<基盤作り> ①都道府県単位の協議会設立 ②情報共有のためのシステム作り ③関東、近畿などのブロック単位の協議会、連絡会の開催 ④市町村単位で作る協議会のモデル事業	①新潟県野球団体協議会やNYBOCで設立 ②マイスタートピックスの発行、ホームページの作成、サミットでの実践発表を計画中 ③他県から野球フェスタの視察例あり ④長岡市で設立済みだが、この動きが県内に拡大してほしい

上記のように、「高校野球200年構想」とNYBOCの取り組みには、共通する部分が多くありますが、県内における実際の浸透度はまだまだ十分とはいえません。私たちが先駆者である以上、半歩先を歩みたいし、歩みを止めてはいけないと考えています。何より「野球が好き」という子どもたちを増やすことが、私たちの活動の根幹にあります。これまでの活動とこれからの活動を、未来の子どもたちのために、一歩ずつ前へ進めていきたいと思ひます。